

日本型経営の理解講座



「なぜ日本人経営者は転職志向を嫌がるのか」
「なぜ日本の企業では職務記述書がはっきりしていないのか」
「なぜ決められた以外の仕事をも命ぜられるのか」
「なぜ管理職も大部屋で一緒に仕事をするのか」
「なぜ意思決定に時間がかかるのか」
「なぜ日本人管理職の業務指示は不明瞭なのか」
こうした疑問が外国人スタッフから多く寄せられています。

日本では当たり前とされてきた雇用慣行は、海外の人材にとってはカルチャーショックとなります。この講座は、外国人スタッフに、日本型経営の特徴を理解してもらい講座です。できれば就業前の実施をお勧めします。

【対象】

日本的な価値観を共有していないため、異文化理解の視点や特別なケアが必要な外国人従業員。また、講座の一部に、研修参加者の母国の労働慣行との比較を行うセッションもあり、企業の人事担当者の方(日本人スタッフ)も参加されると異文化理解につながり、研修効果が高まります。

【講座の目的と期待できる効果】

日本式経営スタイルを学ぶことにより、職場への適応を容易にし、人間関係の円滑化を図る。その結果、生産性の向上につなげることが期待できます。

【研修言語】

講師は英語または日本語を使用。

【講座内容】

御社の業種や、外国人スタッフの在日期间や日本語能力などに応じて、研修内容の変更は可能です。

【講師料・お申し込み】

研修内容・開催地域に応じてお見積もりいたします。お気軽にご相談ください。
メールアドレス info@kaigaijinzai.net (有)人の森 海外人財ネット事業部

【テキスト】

オリジナルテキストを使用する予定です。ご担当者様へ事前にメールにて送付いたします。

【研修場所】

御社にて会議室をご用意ください。御社にて会議室が準備できない場合はご相談下さい。

【研修内容】

■Step 1 日本型経営を学ぶ 座学 1.5時間■

年功序列賃金、終身雇用、企業内組合などに代表される日本型経営の基礎を学ぶ。
長期志向、人材育成志向、無限責任、安定志向について。

■Step 2 ディスカッション &分析シート作成 1時間■

<ミニ・ディスカッション> 母国と日本との雇用慣行を比較する。

■Step 3 日本型組織運営を学ぶ 座学 1.5時間■

- (1) 日本的意思決定方法 : グループ志向、ノウハウのシェア、下位上達、人間関係重視、長期間合意形成プロセス、改善主義
- (2) 日本的組織化原理 : O型組織とM型組織 まわりの人の動きにあわせて、自分の職務を見出す必要性。
- (3) 時間の概念について モノクロニック Vs ポリクロニック。(日本は時間に対して厳しいことを理解する)
- (4) 机の配置に見る企業文化など

■Step 4 組織運営 ディスカッション &分析シート作成 1時間■

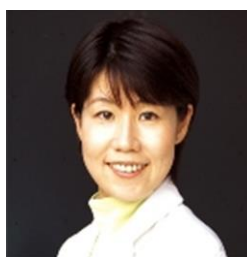
<ミニ・ディスカッション> 母国の職場体験と比較する。

【モデル研修時間】 1日コース

- | | |
|-------------|-------------|
| 10:00-11:30 | 日本型経営理解 |
| 13:00-14:00 | ディスカッション・分析 |
| 14:15-15:45 | 日本的組織運営理解 |
| 16:00-17:00 | ディスカッション・分析 |

* 時間数や講座内容については、ニーズにあわせてお作りいたします。

研修講師紹介



野田さえ子(のだ さえこ)

中小企業診断士

略歴:国際基督教大学卒、オランダ社会研究大学院大学 開発学修士。国連プロジェクトサービス機関(UNOPS)ニューヨーク本部環境部担当官を経てセネガル在住。帰国後、2003年(有)人の森 設立。現在は外国人スタッフを雇用する企業向けのコンサルティング・研修を行う海外人財ネット 代表。

<http://kaigajinzai.net>

講師歴:アジア生産性機構(東京) マーケティング講師
浜松商工会議所主催「外国人を雇用する企業向け労務管理セミナー」講師
外資系企業外国人スタッフ向け日本型経営研修など多数の研修実績を持つ。